

動く

周りをよく見て心を動かし
感じたことに対して何をすべきか頭を働かせ
自ら進んで体を動かす

「未来プロジェクト」

平成30年2月16日

12歳の自分が思い描く未来の自分。どこにいますか。誰と一緒にいますか。どんな活躍をしていますか。

夢とはまた違う、これからの見通し。それが、今回の学習で捉えた「未来」です。



社会科で学習した日本国憲法の理念に基づく自分達の未来を想像しました。平和を守り、人を大切にし、主体的に暮らしを良くしていこうとする大人。しっかりと働いて、税金などで国を支え、次の世代をしっかりと育てていく大人。

仕事をしている自分。社会貢献をしている自分。家族を大切にしている自分。そんな具体的な姿を思い描き、調べ、考えたことを発表しました。



調べていく中で、たくさんの仕事があることに気付きました。仕事の種類はたくさんですが、仕事をする人の思いには共通するものがありました。それは、「人の役に立つ」ということです。どんな仕事を選んでも、それを必要とし、自分の頑張りをありがたく思ってくれる人がいる。だからこそ、自分も他の人の頑張りを認めていくことが大切なのだと気付きました。

調べたことを発表するための練習の中で、友達によさにも気付きました。自分のためにしっかりと話を聞いてくれる友達。アドバイスをしてくれる友達。一緒に悩んだり喜んだりしてくれる友達。未来の自分にも、そんな友達がいることを想像しながら、楽しく活動することができました。

発表を聞いてくれている家の人々の優しい表情に、自分達が大切に育てられていることを感じました。未来の自分は、今、目の前にいる家の人とどのように暮らしているのか。今よりも頼もしくなった自分は、大切に育ててくれた家の人を、しっかりと支えることができるのか。そんなことも考える機会となりました。



未来と今がつながっているように、今の頑張りは未来の自分の活躍につながっています。今回の未来プロジェクトの取組で、心がまた一つ大きく成長した子ども達でした。

